

## 令和5年度 長崎県立島原商業高等学校 学校評価表（自己評価）

校 訓	礼節・友愛・創造
教育方針	全生寮教育を通して「自他一如の精神（心）」を養い、知恵と勇気と行動力を備えた人間性豊かな人材を育成する。 【全生寮本旨】 一、自己のうちにもてる全てを 発揮して 生きよう 二、全ての 他人を 生かそう 一、全ての 人とともに 生きよう
教育目標	(1) 商業および家庭に関する専門的知識・技能を活用して社会に貢献できる生徒を育成する。 (2) 思考力と判断力に基づく主体的な行動と自己管理ができる生徒を育成する。 (3) 多様性を認め共生社会の担い手となる人権意識の高い生徒を育成する。 (4) 仲間と切磋琢磨することで心身共に調和のとれた生徒を育成する。
生活信条	○挨拶（島商）しましょう。（心をつなぐ） ○掃除（島商）しましょう。（心をこめる） ○勉強（島商）しましょう。（向学心をもつ） ○部活（島商）しましょう。（心身を鍛える） ○奉仕（島商）しましょう。（思いやりの心をもつ）
キャッチフレーズ	～チャレンジ島商2023～ 自ら動く 考え動く 共に動く
前年度の成果と課題	(1) コロナ感染症の「第5類」移行を受け、「新しい生活様式」を意識した学校運営を実践する。 (2) 職員全体で定期的に目標を確認し、職員間での情報共有と連携を図りながら授業改善、組織改革に務める。 (3) CMSやSNSを活用して、保護者への学校情報公開や中学生への情報発信を積極的に行う。 (4) 新しい時代に対応できる柔軟な姿勢と、厳しく徹底した指導の両立に努める。 (5) 積極的に研修等に参加し、自身の知識や能力の向上に努め、生徒の教育活動のサポートに生かす。 (6) ICT関係の職員研修を充実させることで、教職員個々のスキルアップを目指し、業務の効率化につなげる。
重点努力目標	(1) 基本的生活習慣の確立 (2) 学力の伸長 (3) 実践的活動の充実 (4) キャリア教育の推進 (5) 地域に開かれた学校づくり (6) 職員研修の充実 (7) 組織力の向上

評価      4：十分達成している                      3：おおむね達成している  
                   2：どちらかというと達成されていない      1：ほとんど達成されていない

※（ ）は昨年度の数値

【評価分野】 1 学校経営							
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	中間	最終	成果と課題	
①学校教育目標	学校教育目標の具現化	学校の実態に即した目標を設定し、教職員の共通理解のもとに教育目標の具現化を図る。	前年度の本校教育課題や生徒の実態を踏まえた適切な重点目標を設定する。	3.2 (3.3)	3.2 (3.2)		
			校務分掌及び学年の経営方針にも学校教育目標を具現化する方策を盛り込んで実践する。	3.2 (3.5)	3.3 (3.2)		
			目標達成の度合いを年度途中で評価・確認する機会を設け、その後の教育活動に生かす。	3.1 (3.2)	3.1 (3.2)		
②学校経営方針	経営方針の明確化とその実践	経営方針が学校内外に明確に示され、教職員間の相互理解と保護者・地域の支持に基づく教育活動を行う。	教育方針や教育目標等を生徒・保護者・地域等に、説明や宣伝する機会を設け、定員確保に努める。	3.4 (3.5)	3.1 (3.1)		
			各教職員が経営方針を意識して教育活動を展開する。	3.2 (3.2)	3.1 (3.1)		
			本校の教育課程を明確にして、中期的な学校ビジョンを検討する。	2.9 (3.1)	2.9 (3.0)		
③学年経営	学年目標の具現化	全生寮教育を通して高校生活の基礎を築き、島商生としての自覚を持たせる。	1年	基本的な生活習慣を確立させ、社会生活への適応力を養う。	3.0 (3.0)	2.9 (2.9)	
			1年	キャリア教育の推進により、自身の能力や適性を理解させ、自己と職業を関連付けて考える力を培う。	3.0 (3.0)	3.2 (3.0)	
			2年	目標を設定し、授業や家庭学習に能動的に取り組むことで、学力の向上に努めさせる。	2.7 (2.8)	2.7 (2.8)	
				個人・保護者面談を通じて進路目標を明確化させ、その実現に向けて努力させる。	3.2 (3.3)	3.1 (3.1)	
			3年	規則正しい生活の中で主体的に考え行動する自主・自立の精神を養う。	3.0 (3.1)	2.9 (2.9)	
				個々の生き方や在り方を尊重し、能力・適性を活かした進路実現を支援する。	3.2 (3.4)	3.2 (3.4)	
④学級経営	学級目標の具現化	学校目標や学年目標に沿った学級づくりを行う。	学校目標や学年目標に沿って、学級の実態に応じた学級目標を設定し、学級経営を行う。	3.3 (3.3)	3.1 (3.1)		

【評価分野】 2 教育活動						
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	中間	最終	成果と課題
①教科指導	わかる授業の展開と工夫・改善ならびに適切な学習評価	生徒の実態に応じて教材の精選をし、各教科で創意工夫がなされた効率的な授業を行う。	生徒の家庭学習時間を一日平均1時間以上にし、基礎学力の向上を目指す。	2.3 (2.4)	<b>2.3</b> (2.3)	
			I C Tを活用したわかりやすい授業を実践する。	3.1 (3.1)	<b>2.9</b> (2.9)	
			習熟度・添削等、個に応じた指導を行い、各種検定の合格率を上げる。	3.2 (3.1)	<b>3.2</b> (3.1)	
			観点別評価で生徒を多面的に評価する。	3.3 (3.1)	<b>3.0</b> (3.1)	
②特別活動	H R活動や生徒会活動・学校行事の充実	生徒自身による自発的な活動を実践する。	各ホームルーム委員の積極的活動と校内外における一人一役を推進する。	2.8 (2.9)	<b>2.8</b> (2.9)	
			生徒会・家庭クラブ活動を活性化して、地域行事やボランティア活動に積極的に参加する。	2.8 (2.8)	<b>2.9</b> (2.8)	
③生徒指導	基本的な生活習慣の確立	全生寮教育の充実を図り、全教職員による継続した指導を徹底する。	授業の折には必ず礼儀作法・服装・学習態度（遅刻時の指導も含む）など具体的指導に努める。	2.9 (3.0)	<b>2.9</b> (2.9)	
			交通ルールの遵守と自転車の二重ロックの徹底に努める。	2.8 (3.0)	<b>2.5</b> (2.9)	
④進路指導	一人ひとりの自己の能力の伸長と適正を活かす進路指導を図る	三年間を見通した効果的なキャリアガイダンスを実施する。	生徒、保護者への進路ガイダンスの実施と充実を図る。	3.4 (3.5)	<b>3.3</b> (3.5)	
			生徒、保護者への進路情報をこまめに提供する。	3.2 (3.2)	<b>3.2</b> (3.2)	
			新たな進路先（企業・大学）の開拓を図る。	3.1 (3.1)	<b>3.0</b> (3.1)	
⑤健康・安全教育	健康や安全に対する態度の醸成	健康・安全についての正しい知識と理解を深める。心身の健康の保持増進を実践できる生徒を育成する。	健康診断など保健行事を円滑に実施し、生徒の理解に努める。	3.3 (3.5)	<b>3.4</b> (3.4)	
			担任・部顧問・生徒指導部との連携を図り、早期問題解決にあたる。	3.5 (3.4)	<b>3.3</b> (3.2)	
⑥人権教育	人権尊重に対する普遍的価値観の醸成	人権尊重に関する課題を認識させ、解決のための実践力を身に付けさせる。	人権教育の学習を通し、全生徒・職員の意識を高める。	3.3 (3.3)	<b>3.4</b> (3.3)	
	カウンセリングの充実	カウンセリングマインドを持って生徒の相談に応じる。	生徒理解のための諸検査を実施し、個別面談に活用する。 担任・他分掌・学年との連携を密にし、いじめやメール等の嫌がらせ・不登校の根絶を図る。	3.4 (3.5) 3.3 (3.4)	<b>3.4</b> (3.4) <b>3.2</b> (3.3)	
⑦特別支援教育	特別支援教育体制の整備	特別な教育的支援を必要とする生徒に対する支援体制の充実を図る。	特別支援教育コーディネーターを中心に、必要に応じて職員の指導力の向上を目指して研修を実施する。	3.1 (3.2)	<b>3.0</b> (3.3)	
⑧部活動	部活動の活性化	部活動の計画的かつ効率的な活動を目指す。	部活動指導ガイドラインに沿った計画的な指導を行い、部活動の活性化を図る。	3.1 (3.2)	<b>3.1</b> (3.2)	
【評価分野】 3 組織運営						
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	中間	最終	成果と課題
①校務分掌	適切な役割分担・組織的な活動と運営	各自の役割分担を明確にして、適切に仕事を処理する。	校務事務支援システムを有効に活用し仕事の負担軽減を図る。	3.0 (3.1)	<b>3.1</b> (3.0)	
			学校全体の校務が円滑に推進できるように、分掌相互間の連携を図る。	3.0 (3.0)	<b>3.0</b> (3.0)	
②各種委員会	目的に応じた適切な委員会の設置とその運用	各種委員会の活動の効率化と活性化を図る。	各種委員会での協議結果を、教育活動や学校経営に生かす。	2.9 (3.0)	<b>2.9</b> (3.0)	
③校内研修	研修体制の確立と実践	職員研修の充実を図る。	全員、年に1回以上はI C Tを活用した授業を公開する。	2.8 (2.9)	<b>2.7</b> (3.0)	
④教職員教育	教職員の資質向上への取り組み	教育センター等の研修に積極的に参加する。	各種公的研修会へ積極的・計画的に参加し、資質の向上と意識改革を図る。	2.9 (2.8)	<b>2.9</b> (2.8)	

【評価分野】 4 教育環境						
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	中間	最終	成果と課題
①学校環境の整備	潤いのある生活環境・教育環境の整備	清掃活動を通じ、協調性や奉仕の精神を養い、創意工夫の心を培う。	全校生徒、全教職員で積極的に清掃活動に取り組む。	3.0	<b>2.8</b>	
				(3.1)	(3.1)	
②施設・設備の管理	施設・設備の安全管理と経費の節減	施設・設備の有効活用を図り、安全点検等の管理を適切に行う。	施設設備の安全点検を計画的に行い、必要に応じて改修や補修を行う。  水道・光熱費、通信費等の節約に努める。	3.3	<b>3.4</b>	
				(3.3)	(3.2)	
③情報インフラの整備・充実	教育活動全般の情報化  ホームページの更新	情報機器等を使った校務処理を適切に行う。  学校の情報発信源とし、PRの手段とする。	ICT機器を使いこなせるように努力するとともに、生徒の理解が深まるように有効に活用する。  職員全員でCMSを活用した更新に取り組み、分掌、学年、教科、部活動などの情報を発信する。	3.1	<b>3.1</b>	
				(3.0)	(3.1)	
【評価分野】 5 開かれた学校づくり						
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	中間	最終	成果と課題
①保護者との連携	PTA活動の充実	積極的に学校を開放し、地域からの信頼と理解を図る。PTA活動を活性化する。	本校の教育活動を積極的に公開し、保護者や地域から信頼と理解を深める。  PTA総会や諸活動への参加率を上げる。	3.1	<b>3.1</b>	
				(3.1)	(3.2)	
②地域や関係機関との連携	学校間の連携の充実  外部講師の招聘  学校評議員との連携	他校や異校種との効果的な連携を図る。  外部講師を効果的に活用する。  学校評議員会を充実させる。	県内の大学、近隣地域の高校・中学校との情報交換や連携を図る。  地域の人材を専門教科やHR等において効果的に活用する。  運営方針等について学校評議員の意見を聞き学校運営に反映させる。	2.9	<b>2.9</b>	
				(3.0)	(2.9)	
				2.9	<b>3.2</b>	
				(3.1)	(3.2)	
				3.2	<b>3.1</b>	
				(3.2)	(3.1)	
【総評】						
評価の結果 (課題と問題点)						
来年度の改善策						

令和5年度 長崎県立島原商業高等学校 学校評価 生徒アンケート集計結果

I 調査対象者数 267名(回答数265名)

II 調査回収率 99.3%

III 評価基準各質問に対して、

4: そう思う(あてはまる)

3: どちらかというと思う(ややあてはまる)

2: どちらかというと思わない(ややあてはまらない)

1: そう思わない(あてはまらない)

項目	番号	内 容	1学年	2学年	3学年	全体	昨年
1 教育活動	1	あなたは島商の努力目標やキャッチフレーズ(自ら動く 考え動く 共に動く)を念頭に置いて行動している。	3.1	3.0	3.3	<b>3.1</b>	3.0
	2	あなたは積極的にあいさつを行っている。	3.3	3.3	3.5	<b>3.3</b>	3.4
	3	あなたは全生寮研修で養った精神を日頃の学校生活で活かしている。	2.9	3.0	3.3	<b>3.1</b>	3.0
	4	あなたはルールやマナーを守り、容儀や言葉遣いなどをきちんと行っている。	3.3	3.4	3.4	<b>3.4</b>	3.3
	5	あなたは日頃から周囲や相手のことを思いやって生活ができています。	3.5	3.4	3.5	<b>3.5</b>	3.5
	6	あなたは地域のイベントやボランティア活動に意識して参加している。	2.3	2.1	2.6	<b>2.4</b>	2.4
	7	あなたは部活動に熱心に取り組んでいます。	3.3	3.1	3.3	<b>3.2</b>	3.4
	8	先生方は生徒が校則違反をした時、きちんと指導してくれる。	3.5	3.6	3.5	<b>3.5</b>	3.6
	9	先生方は親身になって何事にも相談にのってくれる。	3.1	3.1	3.3	<b>3.2</b>	3.2
	10	島商は進路に関する情報を提供してくれる。	3.4	3.2	3.4	<b>3.4</b>	3.5
	11	島商では命を大切にする教育や人権・平和教育が行われている。	3.4	3.5	3.5	<b>3.5</b>	3.5
	12	島商ではボランティア活動など地域と交流する活動が行われている。	3.3	3.2	3.4	<b>3.3</b>	3.1
2 学習活動	13	あなたは進路や資格取得など目標を持って学習に励んでいます。	3.4	3.3	3.6	<b>3.4</b>	3.5
	14	あなたは家庭学習を1日60分以上行うよう努力している。	2.4	2.1	2.2	<b>2.3</b>	2.2
	15	島商の授業は工夫がなされ分かりやすい。	3.0	2.8	2.9	<b>2.9</b>	2.9
	16	島商の授業では教科書以外の補助教材や教育機器等が活用されている。	3.2	3.4	3.2	<b>3.3</b>	3.4
	17	島商では適性・進路に応じたコースや科目を選択する指導が行われている。	3.4	3.4	3.4	<b>3.4</b>	3.4
	18	あなたは政治や選挙に関心があり、自ら社会への参画を目指している。	2.4	2.2	2.5	<b>2.4</b>	2.4
3 教育環境	19	島商では教育に必要な施設・設備が整っている。	3.0	3.0	3.0	<b>3.0</b>	3.0
	20	島商は清潔で清掃が行き届いている。	3.0	3.0	2.9	<b>3.0</b>	2.9
	21	島商では健康や安全に関する指導が行われている。	3.3	3.3	3.3	<b>3.3</b>	3.3
	22	あなたは環境問題に関心があり、ゴミ減量やリサイクル運動等を意識して取り組んでいます。	2.9	3.0	3.1	<b>3.0</b>	3.0
4 その他	23	島商の生徒会活動は生徒が中心となって運営している。	3.3	3.3	3.3	<b>3.3</b>	3.3
	24	あなたは学校の出来事を家庭で話している。	3.2	3.1	3.3	<b>3.2</b>	3.3

令和5年度 長崎県立島原商業高等学校 学校評価 保護者アンケート集計結果

I 調査対象者数 267名(回答数計:227名 1年:84/91 2年:66/80 3年:77/96)

II 調査回収率 85.0%

III 評価基準 各質問に対して

4: そう思う(あてはまる)	3: どちらかというと思う(ややあてはまる)
2: どちらかというと思わない(ややあてはまらない)	1: そう思わない(あてはまらない)

項目	番号	内 容	1年	2年	3年	全体	昨年
1 教育活動	1	本校の教育方針や努力目標はわかりやすいものになっている。	3.3	3.0	3.3	3.2	3.3
	2	子供は全生寮研修で養った精神を日頃の学校生活で活かしている。	2.7	2.8	3.0	2.9	3.0
	3	子供は社会のルールや本校のルールを良く守っている。	3.3	3.1	3.4	3.3	3.4
	4	子供は地域のイベントやボランティア活動に意識して参加している。	2.7	2.4	2.8	2.6	2.7
	5	子供は積極的に部活動に参加している。	3.5	3.4	3.4	3.4	3.6
	6	学校では、容儀・マナー・あいさつや言葉遣いなどの指導は十分行われている。	3.3	3.1	3.2	3.2	3.4
	7	学校は子供に関する保護者の相談にきちんと対応している。	3.3	2.9	3.3	3.2	3.3
2 学習活動	8	子供は授業が分かりやすいと言っている。	2.8	2.7	2.9	2.8	2.9
	9	子供は進路や資格取得など目標を持って学業に励んでいる。	3.3	3.1	3.4	3.3	3.3
	10	子供には日頃から家庭学習を行うように声をかけている。	3.1	2.8	3.0	3.0	3.0
3 教育環境	11	学校は教育に必要な施設・設備が整っている。	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2
	12	子供は環境問題に関心があり、ゴミ減量やリサイクル運動等を意識して取り組んでいる。	2.7	2.6	2.8	2.7	3.0
	13	学校は清潔で清掃が行き届いている。	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4
4 開かれた学校	14	学校の施設は保護者や地域に開放されている。	3.1	3.0	3.1	3.1	3.2
	15	学校は学校の様子や諸行事に関する情報を家庭や地域にきちんと提供している。	3.3	3.2	3.2	3.3	3.2
5 その他	16	PTA活動や学校行事に進んで参加している。	2.7	2.4	2.7	2.6	2.8
	17	子供は明るく生き生きとした学校生活を送っている。	3.4	3.2	3.6	3.4	3.5
	18	子供は学校での出来事を家庭で話してくれる。	3.3	3.2	3.3	3.3	3.4